

祖青へ伝言板

●第十回戦史検定

◇日程 令和元年11月17日(日)

◇会場 東京・読売理工医療福祉専門学校/大阪・堺市産業振興センター

◇試験時間 初級 (11時45分～12時45分) / 中上級 (14時30分～16時・併願含む)

◇受験資格 (初級)どなたでも受験出来ます。※初級合格者の再受験可

(中上級初めて受験される方は初級との併願受験をお奨めします。)

◇試験方法 マークシートによる五者択一方式

◇出題数 (初級)五十問 / (中上級)百問

◇受験料 (初級)三千八百円、(中上級)五千五百円(併願)八千円

◇受付期間 令和元年8月1日～10月14日 ※Webからのお申し込みになります。

◇当日受験 先着三十名様まで受け付けます(受験料は当日会場にお持ちください)

◇受験対策セミナー(初級の

み) 希望者先着百名まで(大阪は四十五名まで)

東京、大阪とも同日、同会場にて9時45分(受験料千円/当日会場にて受付)

◇出題レベル

【初級】 戦史の概要を理解し、主な戦闘や出来事、人物に関する知識を有している。

【中級】 戦史の流れを理解し、戦闘や出来事の経緯や関係性、日本軍の組織や兵器に関する知識を有している。

【上級】 幅広く多面的に深く戦史を理解し、交戦国の状況や戦闘や事件の詳細、その他全般にわたる知識を有している。

◇合格ライン 【初級】 35点以上

【中級】 60点以上 89点以下 【上級】 90点以上

◇問い合わせ先

戦史検定協会事務局
E-mail: info@senshikenjukai.org

編集後記

かつて三島由紀夫氏は、現代の日本は「統治的國家(行政権の主體)」と「祭祀的國家(國民精神の主體)」に分かれていて、と指摘しました。

近代政治学が問題にする國家は、前者です。しかし、それだけで日本という國家を説明し尽くすことはできません。

近代政治学が後者を問題としなしたのは、「目に見えない」からでしょうか。三島氏は「ここでは象徴的行為としての祭祀が、國家の永遠の時間的連続性を保障し、歴史・伝統・文化などが継承され

……文化はここにもみ根を見だし……」と説明しています。

「象徴的行為としての祭祀」は、普段は宮中の奥深くでなされておられ、また、憲法上「天皇の私的行為」とされていることもあって、私たち國民の耳目に接する機会はほとんどありません。

しかし、「目に見えない」からといって、「ない」ではありません。三島氏は「後者が前者の背後に影のごとく揺曳しているのが現代日本である」と言っています。

十一月十四～十五日に行われる大嘗祭は、普段垣間見ることのない「國の姿」を窺い知る、またとない機会となります。(鈴木)

祖國と青年 10月号 (第493号)

令和元年 10月1日発行

発行所 日本協議会
日本青年協議会

発行人 椛島有由 三充

編集人 鈴木由 木

印刷所 モリモト印刷

申込先 日本協議会・
日本青年協議会出版部

〒153-0042 東京都目黒区青葉台

3-10-1-602 TEL 03(3476)5711

FAX 03(3476)5710

郵便振替口座

<00160-1-185326>

<加入者名 日本青年協議会>

E-Mail: info@seikyuu.org

http://www.seikyuu.org

定価 1部 550円 (会員の各会費に
送料とあわせて含まれます)